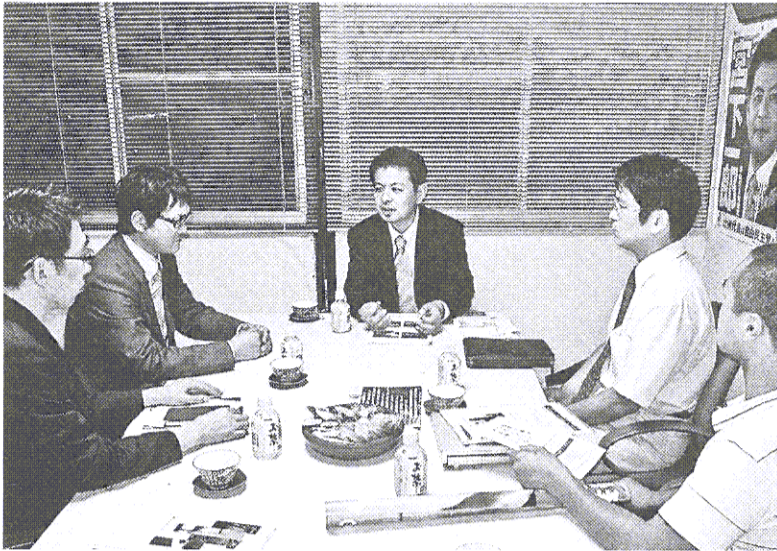


心豊かな未来を目指して

マイ ジョーン!



30代の若手の皆さんとの懇談会を開き、政治の問題点や日本のあるべき姿について語り合うなど、常に対話を重視した活動を展開している

現在の日本は、デフレ経済や少子高齢化の進行、地球環境問題、安全保障問題など様々な課題に直面しています。今こそ、こうした現状を大局的に把握し、誰もが生き生きと生活できる心豊かな未来を目指して、中長期的な戦略や目標を策定しなければならぬ時です。



党長野県第5選挙区支部長
宮下 一郎 (52)

持続可能な社会の実現であると考えます。そのために、社会保障では年金、医療、介護などを一体的に捉えて制度を改革すること、無駄の排除、経済発展、適正な国民負担により財源を確保することが欠かせません。また、地球環境問題に対応し、産業や流通、ライフスタイルなどの構造改革を行い、循環型社会の実現を目指すことです。

はなく、機会平等社会を実現することです。頑張れば、夢を実現できる社会でなければ、活力は生まれません。その際、しっかりとセーフティネットの構築も忘れてはなりません。特に、教育の機会均等を図り、志ある青少年が学ぶことができるよう、家庭の経済状況に応じた支援を充実させることが重要です。

今こそ、わが国が目指す 国家像を明確にすべきだ

面では、次世代の農業の担い手への農地の集積や効率化、流通改革や付加価値の高い農業の実現、中山間地に対しては直接支払いや有害鳥獣対策の充実など、農地を守り、有効活用する総合的な施策が必要とされます。

イアル雇用の活用や、学校教育において実社会が必要とする教育を実現すること、新たな分野に再挑戦する人を大学がサポートするなど、社会全体で人材育成に取り組むことが必要です。同時に、障害者への支援を充実し、真のノーマライゼーションを目指すことが、大切であると考えます。

第四は、都市と地方が共生対流する社会の実現です。特に各地方がその特色を生かし、若者も活躍できる場として再生するとともに、都市への過度な人口集中を是正することが望ましいと考えます。各地方が、食糧やエネルギーなどで自給率を高めるとともに、交通網、教育環境、医療環境を整備して企業、大学、研究施設を誘致し、農業体験なども含め都市との交流を深めることは、日本全体の活性化に大きく寄与するものと確信します。

第五は、世界の平和や発展に貢献することです。こうした新たな未来を切り開くために最も大切なのは、国民が現状認識と目指すべき国家像を共有することであり、憲法改正にむけた国民的な議論を行うことは、その大きな契機となると考えます。今こそ、政治がしっかりとリーダーシップをとり、心豊かな未来を目指すべき時です。

頑張れば、夢を実現できる社会へ



地元の御柱祭に参加して先綱を引く宮下一郎支部長。様々なイベントを通じて地域活性化の活動を応援することを果たした



コメ作りを体験する農業イベントに参加し、稲刈りに汗を流す宮下一郎支部長。食糧が努力の結晶であることを実感した

宮下 一郎 (みやした・いちろう)

昭和33年8月1日生まれ。58年、東京大学経済学部卒業。住友銀行に入行、日本橋支店を経て本部の国際企画部など国際業務を担当。平成3年、父・宮下創平防衛庁長官秘書官、6年、環境庁長官秘書官、10年、厚生大臣秘書官。15年、衆院選長野5区で初当選、2期。衆院財務金融委員会理事、農林水産委員会理事、災害対策特別委員会理事、党財務金融部会専任部会長。財務大臣政務官。党農林部会長代理、畜産・酪農対策小委員長。現在は党長野県第5選挙区支部長。

宮下 一郎事務所

長野一396-0006 長野県伊那市上牧6610-1
電話：0265-78-2828 FAX：0265-78-2893
E-mail：ichiro@m-ichiro.jp

宮下 一郎ホームページ

宮下 一郎ブログ

<http://www.m-ichiro.jp> <http://m-ichiro-blog.net/>